

2010年3月期(09年度)

中間決算説明資料

2009年12月

和興エンジニアリング株式会社



(1) 全体の概況

(単位:百万円)

区分	09.3期(08年度)		10.3期(09年度)							
	連結	個別	連結				個別			
	実績 A	実績 B	計画 C	実績 D	前期比 D/A	計画比 D/C	計画 E	実績 F	前期比 F/B	計画比 F/E
受注高	17,549	16,916	15,900	16,126	91.9%	101.4%	14,850	15,084	89.2%	101.6%
完成工事高	14,316	13,703	14,750	13,942	97.4%	94.5%	13,700	12,914	94.2%	94.3%
経常利益	△ 174 (△1.2%)	△ 54 (△0.4%)	56 (0.4%)	△ 367 (△2.6%)	△210.9% (△1.4)	△755.4% (△3.0)	65 (0.5%)	△ 263 (△2.0%)	△487.0% (△1.6)	△504.6% (△2.5)
当期純利益	△ 158 (△1.1%)	△ 32 (△0.2%)	28 (0.2%)	△ 426 (△3.1%)	△269.6% (△2.0)	△1621.4% (△3.3)	32 (0.2%)	△ 364 (△2.8%)	△1137.5% (△2.6)	△1237.5% (△3.0)

(注) 1. 百万円未満の端数は、切り捨てて表示しております。
2. ()内は、完成工事高に対する割合です。

- ◆ 受注高(連結) (対計画+226百万円、対前年同期△1,423百万円)
- 完工高(連結) (対計画△808百万円、対前年同期△ 374百万円)

受注高においては、設備投資減少の影響から対前年比は大幅に下回るも、アクセス系工事が計画通り推移したことにより計画は上回った。

完工高においては、下期への完成繰越しや民需系の落込みにより低調な推移となった。

- ◆ 経常利益(連結) (対計画△423百万円、対前年同期△193百万円)
- 純利益(連結) (対計画△454百万円、対前年同期△268百万円)

利益面に関しては、完工高が減少したことや、受注価格の低廉化に加え、外注費や材料費の適正化などの各種効率化施策の実現が第2四半期以降にずれ込んだことにより、対計画・対前年同期共に大幅な減少となった。

(2) ソリューション別の受注高・完工高の概況(連結)

(単位:百万円)

区 分	受注高					完工高				
	09.3期 (08年度) 中間	10.3期 (09年度) 中間				09.3期 (08年度) 中間	10.3期 (09年度) 中間			
	実績 A	計画 B	実績 C	前期比 C/A	計画比 C/B	実績 A	計画 B	実績 C	前期比 C/A	計画比 C/B
ア ク セ ス	11,264	10,140	10,519	93.4%	103.7%	9,974	9,511	9,389	94.1%	98.7%
基 盤	1,649	1,040	1,173	71.1%	112.8%	730	809	613	84.0%	75.8%
ネ ッ ト ワ ー ク	1,598	1,093	1,081	67.6%	98.9%	1,288	1,054	1,023	79.4%	97.1%
E G ソ リ ュ ー シ ョ ン (N T T 関 連)	14,511	12,273	12,773	88.0%	104.1%	11,992	11,374	11,025	91.9%	96.9%
I T ソ リ ュ ー シ ョ ン (官 公 庁 民 需 関 連)	3,038	3,627	3,353	110.4%	92.4%	2,324	3,376	2,917	125.5%	86.4%
合 計	17,549	15,900	16,126	91.9%	101.4%	14,316	14,750	13,942	97.4%	94.5%

(注) 百万円未満の端数は、切り捨てて表示しております。

◆ E G ソリューション

受注高は、お客様の投資抑制等によりネットワーク系が大幅に減少し前年同期（前期はNGN関連投資が増加）を下回ったが、アクセス系の電柱立替や支障移転工事や基盤系工事などが順調に推移し、対前期は減少となったが、対計画比は上回った。完工高は、基盤系などの下期への完成繰越しなどにより対計画、対前年同期共に減少する結果となった。

◆ I T ソリューション

昨年来の景気悪化の影響による民間企業の投資抑制が想定以上に厳しかったが、連結子会社の営業努力などにより前期比は上回ったが、計画値には及ばなかった。

2. 2010年3月期(09年度) 通期業績予想



(単位:百万円)

区 分	09.3期(08年度)		10.3期(09年度)							
	連 結	個 別	連 結			個 別				
	実績 A	実績 B	当初計画 C	修正予想 D	前期比 D/A	計画比 D/C	当初計画 E	修正予想 F	前期比 F/B	計画比 F/E
受 注 高	31,940	30,209	32,080	32,080	100.4%	100.0%	30,840	30,840	102.1%	100.0%
完成工事高	31,400	29,646	32,730	32,730	104.2%	100.0%	31,500	31,500	106.3%	100.0%
経 常 利 益	▲ 145 -(0.5%)	▲ 18 -(0.1%)	490 (1.5%)	490 (1.5%)	437.9% (+2.0)	100.0% (0.0)	415 (1.3%)	415 (1.3%)	2305.6% (0.8)	100.0% (0.0)
当期純利益	▲ 253 -(0.8%)	▲ 114 -(0.4%)	250 (0.8%)	250 (0.8%)	198.8% (+1.6)	100.0% (0.0)	210 (0.7%)	210 (0.7%)	-184.2% (+1.1)	100.0% (0.0)

- (注) 1. 百万円未満の端数は、切り捨てて表示しております。
2. ()内は、完成工事高に対する割合です。

- ◆ 受注高・完工高は、投資抑制等により引き続き厳しい状況が続くことが予想されるが、引き続き連結子会社を含め営業活動の強化とタイムリーな稼働調整による繰り延べ工事を含め下期偏重となっている工事の完成を強力に促進する。
- ◆ 経常利益・当期純利益は、中間期の落ち込みをカバーするべく、上期からの繰越し工事などの年度内竣工を強力に推進し、営業力の強化、外注費適正化の継続実施に加え、施工体制の一層の強化、効率的な人員配置などにより、外注コスト等の低減・諸経費の節減をはかり第2四半期以降にずれ込んだ各種効率化施策の早期全面実施などにより利益確保に努める。

弊社は、時代の変化に即応し、先進の技術と最良のサービスで
 新たな成長ステージでの飛躍を遂げ、
 首都圏における強固なポジショニングの確立を目指します。

和興エンジニアリング株式会社

(<http://www.wako-eng.co.jp>)



(証券コード 1756)

◆見通しに関する注記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

◆お問合せ先

経営管理本部経営企画部

新寄（しんざき） ・ 井立（いだて）

T E L 03-6404-2602

050-5541-2109 (IP電話)